

支え合いほっとライン事業（山形県小国町）

事例の概要（事業名：支え合いほっとライン事業）

高齢者等が**住み慣れた地域**で、**安心して暮らしていくことができる**よう、**地域の住民同士が支え合う仕組みづくり**を推進する。

事例の内容

事業主体：小国町社会福祉協議会

事業内容：安心見守りサービス、福祉カルテ作成、地域サロンの実施

総事業費：4.9百万円（うち過疎債 4.9百万円）



【安心見守りサービスの様子】

ポイント

①安心見守りサービス

一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯を月1～2回訪問し、食事や健康等の確認や、外部との交流機会が少ない方に、集会の案内等を行い、楽しく安心して暮らせるようサポートする。

現在、35名が利用している。

②福祉カルテ作成

支援が必要な人、災害時の要援護者について台帳を整備し、警察や消防、民生委員等と情報を共有することで、緊急時はもちろん、日常生活などでの支援も行う。

現在500名以上が登録している。

③地域サロン実施

地域が主体となり、介護予防体操やお茶のみなど、定期的に高齢者が集まり、交流する場を提供する。

健康づくりや不安の解消、閉じこもりの防止に役立っている。

現在、32地区で実施している。

高齢者が住み慣れた地域でいきいきと生活できる地域社会の構築